

(5) 英語

ア 個々の問題の概要及びその通過率

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	評価の観点	A設定通過率(%)	B通過率(%)	AとBの比較
(1)聞くこと ア	1	(1) 日常的话题について、必要な情報を正確に聞き取っている。	知・技	60	95	↑
		(2) 日常的话题について、必要な情報を正確に聞き取っている。	知・技	60	51	↓
		(3) 日常的话题について、必要な情報を正確に聞き取っている。	知・技	60	66	↑
(1)聞くこと イ	2	社会的な話題について、まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解している。	思・判・表	60	49	↓
(1)聞くこと ア	3	日常的话题について、まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を聞き取っている。	思・判・表	60	75	↑
(2)読むこと ア	4	(1) 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取っている。	知・技	60	58	—
		(2) 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取っている。	知・技	60	27	↓
(2)読むこと イ	5	(1) 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えている。	思・判・表	60	70	↑
		(2) 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えている。	思・判・表	50	63	↑
(2)読むこと ウ	6	(1) 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えている。	思・判・表	50	12	↓
		(2) 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えている。	思・判・表	50	51	—
(5)書くこと ウ	6	① 社会的な話題について、読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて書いている。	思・判・表	30	30	—
		② 社会的な話題について、読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて書いている。	思・判・表	30	34	—
(5)書くこと ア	7	(1) コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解し、目的格の代名詞を書いている。	知・技	60	41	↓
		(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解し、how manyを用いた疑問文を書いている。	知・技	60	46	↓
		(3) コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解し、一般動詞の過去形の肯定文を書いている。	知・技	60	39	↓
		(4) コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解し、一般動詞三人称単数現在形の否定文を書いている。	知・技	60	28	↓
		(5) コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解し、whoseを用いた疑問文を書いている。	知・技	60	19	↓
		(6) コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解し、whereを用いた疑問文を書いている。	知・技	60	29	↓
		(7) コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解し、過去進行形の肯定文を書いている。	知・技	60	16	↓
		(8) コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解し、be動詞の肯定文を書いている。	知・技	60	44	↓
(5)書くこと イ	8	条件に従って、日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	思・判・表	30	29	—

A設定通過率とB通過率を比較する際は、下記により判断する。

+5ポイントより上の場合：「↑」 ±5ポイントの範囲内：「—」 -5ポイントより下の場合：「↓」

評価の観点	知・技	思・判・表
A設定通過率	60	47
B通過率	43	46

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東 青 管 内		西 北 管 内						
			青森市	東郡	五所川原市	つがる市	西・北郡				
1	(1)	必要な情報の聞き取り	60	96	96	94	95	96	93	96	
	(2)	必要な情報の聞き取り	60	55	54	57	52	52	56	50	
	(3)	必要な情報の聞き取り	60	66	66	68	65	62	69	64	
2		話の概要の聞き取り	60	48	48	41	49	46	53	49	
3		必要な情報の聞き取り	60	74	75	71	73	73	73	73	
4	(1)	必要な情報の読み取り	60	59	60	53	58	57	60	56	
	(2)	必要な情報の読み取り	60	30	30	27	25	25	31	21	
5	(1)	短い文章の概要の捉え	60	68	69	66	69	67	72	70	
	(2)	短い文章の概要の捉え	50	64	64	65	61	59	66	60	
6	(1)	短い文章の要点の捉え	50	13	13	13	12	11	14	12	
	(2)	短い文章の要点の捉え	50	51	51	52	52	54	58	45	
	(3)	①	読んだ内容について、考えを述べる 英作文	30	32	32	35	26	24	39	19
		②	読んだ内容について、考えを述べる 英作文	30	39	39	40	32	29	40	28
7	(1)	代名詞（目的格）の適語補充	60	39	39	35	29	27	37	25	
	(2)	How many（疑問詞）の適語補充	60	49	49	50	35	33	46	30	
	(3)	一般動詞・過去形の肯定文の適語補充	60	38	39	31	36	34	49	28	
	(4)	一般動詞・三単現・否定文の適語補充	60	34	34	32	26	24	35	20	
	(5)	Whose（疑問詞）の適語補充	60	18	19	14	24	17	42	18	
	(6)	Where（疑問詞）の適語補充	60	34	34	27	24	22	33	18	
	(7)	過去進行形・肯定文の適語補充	60	19	19	13	13	12	20	10	
	(8)	be 動詞・肯定文の適語補充	60	49	49	51	40	37	53	32	
8		条件に合うまとまりのある英作文	30	40	39	41	21	22	27	17	
教 科 全 体			55	46	46	44	42	40	48	38	

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内				下 北 管 内			三 八 管 内			県全体
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡		八戸市	三戸郡			
95	95	96	93	98	96	96	97	95	96	97	94	95	95	96	95
47	47	38	55	49	54	50	59	54	51	52	49	46	45	51	51
64	65	68	65	56	67	69	71	64	65	67	54	65	64	70	66
45	43	54	47	47	54	53	60	51	52	54	40	49	49	52	49
72	74	73	72	64	77	78	79	75	75	77	67	75	75	77	75
55	57	58	47	51	60	59	63	59	51	54	36	61	62	59	58
27	27	27	23	28	26	30	29	23	23	26	9	29	29	26	27
76	75	79	79	75	74	77	69	73	65	66	58	68	68	70	70
61	63	57	63	53	63	67	64	60	60	61	55	67	68	61	63
10	10	13	8	10	16	16	15	16	10	12	6	12	12	12	12
50	51	53	46	46	53	55	58	50	42	45	31	53	54	51	51
24	25	27	24	19	34	37	37	30	22	23	17	33	35	27	30
25	25	30	25	22	35	35	44	30	27	30	17	39	40	38	34
26	27	23	25	24	35	37	39	33	38	42	19	64	64	63	41
39	38	34	49	39	48	48	55	45	45	45	44	51	52	49	46
36	35	33	36	46	39	45	41	34	34	37	21	42	43	42	39
25	26	24	23	21	29	29	36	25	19	22	6	29	29	27	28
14	12	17	18	18	23	27	30	16	16	18	11	19	18	20	19
24	24	21	30	21	29	26	42	24	23	24	16	30	30	30	29
17	16	17	23	14	14	15	20	12	8	9	4	17	17	17	16
42	42	32	47	48	43	43	49	41	34	38	16	47	48	43	44
24	27	25	14	18	31	28	39	31	28	30	21	25	24	29	29
41	41	41	41	39	45	46	50	43	40	42	32	46	46	46	44

通過率（%）は、「総正答数／総解答数」で算出した数値の少数第1位を四捨五入した整数値で表しています。

ウ 個々の問題の主な誤答例

問題番号	通過率(%)	主な誤答例(無答を含む) (かっこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%であり、調査全体の誤答の割合とは異なる)
2	49	イ→ア→ウ (33.0) イ→ウ→ア (10.0) ウ→ア→イ (4.0)
4	(2) 27	week (20.0) 無答 (9.0) time (7.0) day (6.0) Saturday (3.5) Sunday (3.5) night (2.5)
6	(1) 12	友達がたくさんいない (30.5) 友達がいます (2.5)
7	(3) 39	go (33.5) got (7.0) 無答 (3.0) want (2.0)
	(4) 28	don't (21.0) is (11.0) dogs (7.0) I (3.0) it (2.5)
	(5) 19	無答 (15.5) What name (14.0) What this (6.5)
	(7) 16	was eat (2.5) were doing (2.0)

エ 今後の指導について

(1)読むこと

○課題の見られた問題 〔6〕

○出題のねらい

社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えるとともに、読んだことを基にして書くという技能統合の力を問う問題である。出題の意図は、読んだ後に感想や意見、賛否、またその理由を示すことを念頭に置いて、話の内容や書き手の意見などを主体的に捉えることができるかどうかを把握する問題とした。

○分析結果と課題

分析の結果、読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて書く力が不足していると考えられる。

課題として、授業で身に付けた文法・語彙等の知識を、読んだことについて意見を述べ合うなどの、複数の領域を統合した言語活動において、十分に活用することができていないことが挙げられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、授業で教科書等の様々な題材の英文を扱うとともに、読んだ内容に関して自分の意見や感想をもち、その内容をまとめて書く活動を取り入れることが大切である。そのためには、読む目的を明確にして、生徒が主体的に英語を読むことができるようにする必要がある。

指導例

読んだことを基に自分の考えを書くことを目指した指導例

【指導の流れ】 使用教材 Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Let's Read 2 Meet Hanyu Yuzuru

1 目的を把握する。

学習活動① 先生と生徒とのやりとりを通して、^{ほにゅう}羽生選手の情報を共有する。

学習活動② 羽生選手のインタビュー記事を、読んだ後にその感想や質問したいことを書くことを目的として読む。

Who is the most famous figure skater in Japan? Yes, it's Mr. Hanyu.
If you know anything about him, please tell me about it.
Today, we are going to read an interview with Mr. Hanyu. After that,
we will write our thoughts and questions to him.



ポイント

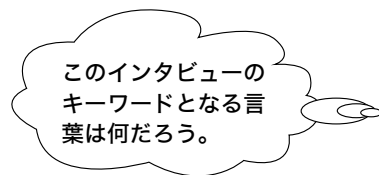
- ・読んだ後に、感想や質問を書くことを示してから読ませる。
- ・生徒とのやり取りを通して羽生選手に関する情報を共有し、これから読む英文に対する期待感を高める。その際は、インタビュー記事にはない情報を与え、聞き取らせたり、やり取りさせたりする。

2 インタビュー記事を読む。

学習活動 考えながらインタビュー記事を読む。



羽生選手が一番伝えたいことは何だろう。私がインタビューをしたら、どんなことを質問するだろう。



このインタビューのキーワードとなる言葉は何だろう。

ポイント

- ・内容を理解するだけでなく、その内容に関しての自分の意見・感想・質問を考えながら読ませる。
- ・文章全体のメッセージやキーワードをつかませる。

3 情報を整理する。

学習活動① ペアやグループで読んだ英文の内容を確認する。



I think one of the key words in this interview is "earthquake".

What questions can we ask him? I made two questions, "How do you study English?" and "What's your next goal?"



学習活動② もう一度読む。

Read this interview once again and check your understanding.



ポイント

- ・一度読んだ後に、インタビュー記事で羽生選手が伝えたかったメッセージや文章全体のキーワードについて、ペアやグループで短時間で話し合わせる。
- ・ポイントとなる事柄を板書で全体に示し、考えを深めさせてもよい。
- ・もう一度読む際には、自分たちで話し合った内容が正しかったかどうかを確認させながら読ませる。
- ・実態に応じて、ヒントを与えたりしながら読ませる。

4 インタビュー記事に対する自分の意見・感想・質問を書く。

学習活動 インタビュー記事に対する自分の意見・感想や羽生選手に対する質問文を書く。

【意見・感想の例】

I think Mr. Hanyu is amazing because he won the gold medal in the Olympics.

【質問文の例】

What do you do when you feel down?

5 活用する。

学習活動 学んだことを生かして、別の英文を読み、自分の意見・感想や質問を書く。

ポイント

- ・目的をもって英文を読む言語活動に繰り返し取り組ませる。
- ・生徒の実態に応じながらも、指導のステップを徐々に減らし、最終的にはまとまりのある英文を読み、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて、即興的に話したり、書いたりすることができるようにさせる。

(2)書くこと

○課題の見られた問題 7

○出題のねらい

コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解し、対話文が成り立つよう適語を正しく書くことができるかを問う問題である。令和元年度までの4（和訳を手掛かりにした適語補充）や9（【 】内に示した話題についての適語補充）を基に出題した。その意図は、AとBの対話文から、目的や場面、状況等を理解し、対話文が成り立つよう、適語を補充できるかを見取るため、和訳や日本語で示した話題提示がなくても正しく語彙や表現を書けるかを問う知識・技能の問題とした。

○分析結果と課題

分析の結果、（無答を含め）約7割の生徒が、目的や場面、状況等を理解し、対話文が成り立つよう適語を正しく書くことができなかった。出題した英文については、過去においても複数回出題しており、語彙や英文の難易度は上がっていないが、出題形式が変わったことで正答率が低下したと捉えている。

その要因として、「対話文を読んで、コミュニケーションが行われている目的や場面、状況等を具体的にイメージすることができなかった」、「対話文の内容を理解したが、適語を書くことができなかった」という2点が考えられる。

課題として、語彙や文法事項等の知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる程度まで高められていないことが考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、文法ごとの指導ではなく、設定したコミュニケーションの目的や場面、状況等の中で、既習の知識を活用して話したり、書いたりする活動を、授業の中に意識して取り入れることが大切である。また、英文をペアで読み合ったり、チェックリストを提示したりして、生徒のセルフチェック力を高める指導を行うなど、英文の精度を高める言語活動を設定することが肝要である。

また、語や文法事項を正しく用いて表現するには、授業ごとに個別の知識として身に付けさせるものではなく、年間を通して「実際に英語を用いた言語活動」において繰り返し活用させることが大切である。目的や場面、状況等を変えながら、様々な場面で既習表現に触れたり考えたりする機会を設け、長期的に指導することが大切である。

指導例

語や文法事項等を正しく用いて表現する指導例

【指導の流れ】 使用教材 New Horizon English Course 2 Stage Activity Research and Presentation

- 1 単元の目標を確認させ、学習内容や活動に見通しをもたせる。
- 2 教師が写真の人物について、英語で紹介する。

学習活動 写真を見ながら、教師の人物紹介のデモンストレーションを聞く。

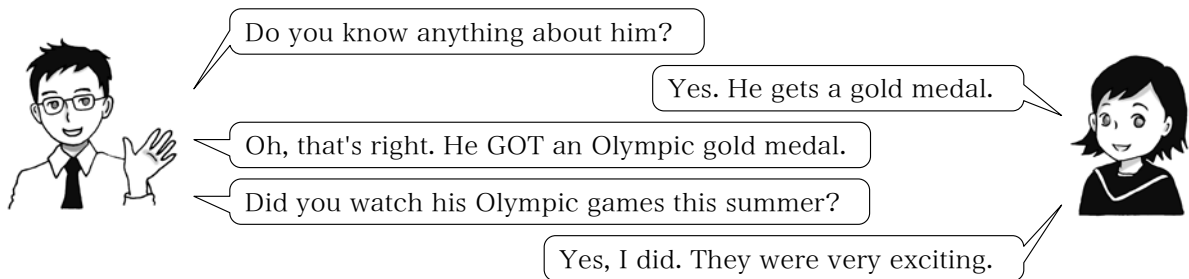


Look at this picture. Do you know him? He is Mr. Jun Mizutani. He is a professional table tennis player. He is from Shizuoka. He lived in Aomori when he was a junior high school and a high school student. He likes coffee and curry.

(水谷 隼選手
の写真)

3 写真の人物について、教師と生徒がやり取りをする。

学習活動 写真の人物について、やり取りを通して情報を付け加える。



ポイント

教師と生徒のやり取りを通して、生徒から写真の人物についての情報を引き出す。生徒の発話における間違いがあった場合は、教師が正しく言い換え、自然に聞かせるようにする。

4 写真の人物について、ワークシートにある情報を基にペアで紹介させる。

学習活動 ワークシートにある情報を基に、ペアで紹介し合う。

- 【ワークシート例】 ※ワークシートにない情報についても紹介してよいです
- ・年齢：27才
 - ・出身：岩手県
 - ・好きな食べ物：甘いもの
 - ・好きなこと：マンガを読む、DVDを見る、歴史の勉強
 - ・兄弟：兄と姉が一人ずついる。
 - ・その他：英語の勉強をがんばっている。
- (大谷 翔平選手の
写真)

5 紹介した人物について、英文にまとめさせる。

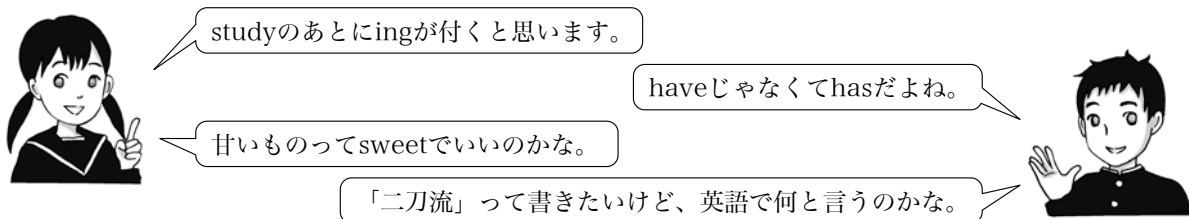
学習活動① ペアで紹介しあった内容を英文にまとめる。

【筆記例】

This is Mr. Shohei Ohtani. He is a famous major league baseball player. He is 27 years old. He is from Iwate and now he lives in Los Angeles. His favorite food is sweet.

He likes reading manga, watching DVDs, and study history. He have a brother and a sister. He studies English very hard to communicate with his teammates.

学習活動② ペアで英文を交換し、チェックし合った後で、再度書き直しをする。



ポイント

語や文法事項等を正しく用いて表現する力が身に付いたかどうか確認するために、再度書き直す場面を設定する。その際、生徒の書いた良い表現を取り上げたり、書き直す前と後の英文を比較するなどして、生徒が自身の学びや変容を自覚できるように支援することが大切である。